



## 2026年スタート

自分自身の夢を叶えるために！

二〇二六年がスタートしました。今年は午年（馬年）です。午は長い歴史の中で、人や荷物を運ぶ存在として人々の暮らしを支えてきました。そのことから午は「人の役に立つ」「家族を守る」「幸せを運ぶ」縁起のよい存在とされています。特に今年は丙午と呼ばれる年で、勢いとエネルギーに満ちあふれた活動的になる年と言われています。

本校では、一月十三日（火）に冬季休業明け始業式を行いました。今年度も寒さ対策として、底冷えする体育館ではなく視聴覚室で行いました。

校長先生からは、ご自身の初夢の話から、お笑い芸人江頭2:50さんの伝説のスピーチを紹介していただきました。「何があつても諦めるな」「夢を追いかけていたら必ず壁にぶち当たる」「簡単に手に入らないから夢なんです」「99人がばかにしても1人が応援してくれたらそれでいいじゃねーか」などの熱いメッセージを紹介の後、「皆さんも夢を感じて追いかけてほしい」と結ばれました。それぞれが思い描く夢は十人十色、それぞれの夢に向かつて挑戦し続ける一年に、挑戦し続ける宮北生になりましょう。



令和8年1月28日

1月号

発行：宮古北高等学校

## 吹奏楽部ウィンターコンサート開催！～3年連続3回目～



1月10日（土）田老福祉センターで、吹奏楽部ウィンターコンサートが開催されました。家族や地域の方々等と共に楽しい時間を過ごしたいという部員の熱い気持ちから始まり、今年度で3回目となります。当日は吹奏楽部顧問の稗貫先生が所属する盛岡吹奏楽団から金管五重奏の皆さんにご出演いただき、部員とのコラボでコンサートに華を添えていただきました。実行委員長の大下 なおひろさんから「今年で3回目になるウィンターコンサートも、私たち3年生は今回が最後です。最後までお楽しみください。」

との挨拶がありました。吹奏楽部による「ルージュの伝言」の後、木管楽器3名による「人生のメリーゴーランド」を演奏しました。3人で息を合わせ演奏する姿は部員の成長を感じさせるものでした。再び吹奏楽部による「Beauty and the Beast」「銀河鉄道999」を演奏しました。盛岡吹奏楽団さんの演奏は、輝かしい「G1ファンファーレ」に始まり、「Escape」「さくらのうた」「魔女の宅急便メドレー」と、息の合った素敵な演奏で、聴衆を魅了するものでした。合同演奏による「マツケンサンバII」でフィナーレのところ、聴衆からアンコールがかかり、三浦校長や岩泉高校の細田先生も加えた総勢12名による「ルパン三世のテーマ‘78’」で締めくくりました。50人あまりの方々に足をお運びいただき、部員にとって有意義な時間となりました。足をお運びいただいた皆さま、ご協力いただいた宮古市社会福祉協議会の皆さま、ありがとうございました。



**第二十九回宮古下伊那高校芸術展**

1月24日（土）～1月25日（日）、イーストピア宮古において開催され、本校からは、美術部、写真部、茶華道部の作品が展示されました。二十四日には華道講習会も開催され、本校茶華道部員も指導いただきました。また、テーマ募集において、二年福士 康介さんが最優秀賞を、三年大下 真寿さんが優秀賞を受賞しました。おめでとうございます！



聴いていました。

宮北の森 一二年修学旅行報告

一月二二日（水）、今年度十回目の宮北の森が行われました。今回は二学年による修学旅行報告でした。

自主研修の班ごとに、パワーポイントで資料を作り、プロジェクトを用いて報告する形で、視聴覚室で行いました。楽しく充実していた修学旅行の思い出がわきました。一学年は来年度の参考にしよう、また三学年は昨年度のことを思い出しながら、それぞれ真剣に

報告にも熱が入っていました。ユーモアを交えながら報告した班もあり、全ての班の報告が大変立派でした。年は昨年度のことを思い出しながら、それぞれ真剣に

写真中心にお伝えしていました。年は主に行事での様子を載せます。ノートのページでは主に行事での様子を載せます。ノートのページ

お知らせ

学校ウェブページ、ノートのページへのアクセスがしやすくなるようQRコードを載せます。

ノートのページ

学校ウェブページ

